

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

学校関係者評価報告書

実施日 令和8年9月5日

令和7年度自己点検・評価を基に評価実施

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組みについて

【評価委員】

学校教育法施行規則の規定により、平成30年度に学校関係者評価委員会規程を定め、平成31年4月1日に学校関係者評価委員会を設置しました。

今年度は、昨年度に引き続き20歳代、30歳代、40歳代のデザイン業界・美術指導等で活躍されている3名の卒業生の方に評価委員を委嘱いたしました。

【評価方法】

評価委員の方々に、令和8年4月に令和7年度自己点検・評価報告書を送付し、当日の段取りについて事務局から電話等で事前に説明したうえで、令和8年9月5日（土）に学校関係者評価委員会を開催しました。

当日は、事務局から学校関係者評価の意義や、過去の状況報告等の説明を行い、委員の紹介後、自己点検・評価報告書の点検項目に沿って、各委員から質問、意見等を伺いました。

【報告書】

学校関係者評価委員会における委員会からの意見、感想を本報告書にとりまとめました。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- ☐ 自己点検・評価報告書の評価基準・点検項目
- ☐ 評価者の意見・質問
- ☐ 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

学校関係者評価委員会による評価結果は、校長以下、専任教員と事務局で組織する自己点検実施委員会で検討し、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し可能な項目から実現に向けて取り組んで参ります。

なお、自己点検評価報告書の作成と学校関係者評価は毎年継続いたします。

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会出席者（敬省略）

【卒業生】

デザイン学科 グラフィックデザイン専攻卒業

乾 行寿 （吉岡印刷株式会社勤務）

【卒業生】

芸術研究科 工芸専攻 陶芸コース修了

杉町 淳美 （個人事業主 陶器製造・販売）

【卒業生】

総合デザイン学科 イラストレーションコース卒業

ボーエン メーリアン （株式会社マテリ勤務）

【学校側】

三木 健 （校長・委員長）

中野 木綿子 （事務局事務長）

※文部科学省からの通達で、令和7年度から自己点検評価項目が変更されております。

基準1 教育理念・目的・目標

① 教育理念、目的及び目標の設定等

点検項目【1-①-1】教育理念等を踏まえ、本校の目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか

【A委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

特になし

基準2 教育課程、教育の実施、学修成果

① 教育課程の編成と授業科目

点検項目【2-①-1】学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統的・段階性に配慮した授業科目を配置しているか

② 教育の実施

点検項目【2-②-1】授業内容科目に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか

③ 単位・卒業認定

点検項目【2-③-1】学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか

④ 学修成果目標の達成状況

点検項目【2-④-1】卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定めその目標が達成できているか

点検項目【2-④-2】学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか

【A委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

- ①AI の活用について
- ②入学者の現役率について
- ③卒業生の進路についてどこまで追跡しているか

□本校の回答

- ①授業にどう取り入れるか、今後重要課題となってくると考える。学生は容易に答えを導き出す道具と考えているように見受けられる。AI は選択肢のひとつであると考え。テニスの壁打ちと同じで、打って球が返ってくる。そこに自分というものはない。生きる力を身につけて、壁と球が自分に返ってくる間に自分というものを投入しないとクリエイティブの世界においては通用しない。そこをしっかりと教育していきたい。
- ②入学者全体のうち、8割は高校卒業後すぐに入学してきている。
- ③文科省の調査は5月1日現在の進路状況が対象になっているので、それ以降の進路状況は把握していない。

基準3 学生の受入れ、学生支援

① 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理

点検項目【3-①-1】入学者の受入方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定しているか

点検項目【3-①-2】学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか

② 自主的な学習の促進に対する支援

点検項目【3-②-1】学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいるか

学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に対する適切な支援を行っているか

③ 多様な学生に対する支援

点検項目【3-③-1】適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っているか

④ 学生生活に関する支援

点検項目【3-④-1】カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか

点検項目【3-④-2】留年者、退学希望者など学習の継続に問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか

点検項目【3-④-3】学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか

点検項目【3-④-4】学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか

点検項目【3－④—5】学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか

【A委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

学校案内パンフレットについて授業風景の写真はたくさん掲載されていて日常がよくわかりとてもいいと思う。改善点としては、校舎の外観をもっと遠方・四方から撮ってPRしてほしい。

□本校の回答

了解しました。HP上の改訂においても、現在計画中である。

基準4 教育実施組織・教員

① 教員の配置、募集、採用

点検項目【4－①—1】教育課程を実施するのに必要な、資格、要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準)を整備し、適正に運用しているか

点検項目【4－①—2】教員の常勤、非常勤、年齢構成等、また、教員一人当たりの授業時数等を把握しているか 教員の専門性、教授力を把握、評価しているか

② 教員の組織編制等

点検項目【4－②—1】学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか

点検項目【4－②—2】教員間で連携、協力体制を構築しているか

③ 教員の資質の向上

点検項目【4－③—1】学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか

【A委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

特になし

基準5 教育環境

① 教育環境の整備

点検項目【5-①-1】教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか

点検項目【5-①-2】学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備しているか また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか

点検項目【5-①-3】図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか

② 安全対策、防災組織

点検項目【5-②-1】学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか

点検項目【5-②-2】火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか

③ 施設・設備の点検、改善等

点検項目【5-③-1】施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか

点検項目【5-③-2】施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施しているか

【A委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B委員評価】

④	3	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C委員評価】

4	3	②	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

図書室について：利用率、デジタル資料は置いているか

□本校の回答

学生はインターネットで資料を検索することが増えてきて、紙媒体を見ることが減ってきているように感じる。

利用率は年々低下してきている。入口扉を開放したり、新刊図書の案内掲示を校内にしたりと利用率の向上に取り組んでいる。

メディアソフトとハードの関係において、ソフトがいつまで使えるかという問題もあるので、デジタル資料については置いていない。

基準6 教育活動の基盤と改善・向上の取組

① 中期事業計画と財務基盤

点検項目【6-①-1】本校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられているか

点検項目【6-①-2】本校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか

② 学校運営

点検項目【6-②-1】学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む)

③ 学校評価の実施と改善活動

点検項目【6-③-1】学校関係者評価委員会からの意見を本校の運営やその改善・向上において活用しているか

点検項目【6-③-2】学校評価を実施し、結果及び改善状況についての情報を公表しているか

点検項目【6-③-3】学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか

④ 社会からの理解と情報の公表

点検項目【6-④-1】本校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか

点検項目【6-④-2】教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界をはじめ、社会全体からの理解を得るように取組んでいるか

【A 委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【B 委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

【C 委員評価】

4	③	2	1	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1
---	---	---	---	-----------------------------------

□評価者の意見・質問

特になし

【総評】

- ・ 学生の学習、就職を全部網羅するのに無理もあるかと思うので、大人（先達）の視点として、学生が知らない道や可能性を見せてあげる。学生にいろいろな引き出し〔技術的に、人生進路的に〕をつくっておいてあげる場であってほしいと思います。
一方、大人の視点で転ばぬ先の杖を差し出しすぎてもいけないのではと思います。失敗すること必要で、未来があるのだということを学生たちに知らしめてほしいです。
- ・ ぜひ「生きる力」の学びをサポートしてあげてほしいと思います。
進路についての様々な選択肢があることをリアルな声などを活用して伝えてあげてほしいと思います。
- ・ AI についての建て前や統一しているルールなどがあればいいと思います。
「使う」か「使わない」ではなく、「こういうものがある」を知識として教えるべきだと思います。
留学生が減っていることが大変気になります。留学生がいるだけで日本の学生の世界が広がりますから。
エレベーターがないことはまだ気になります。
- ・ photoshop や Illustrator にすでに AI が搭載されているので、社会に出た時に「わからない」では済まされない時代となっている。AI の使用については、学生にしっかり伝えてほしい。